

# 生活の約束

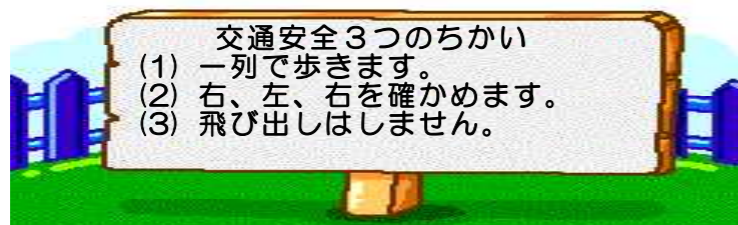
小美玉市立竹原小学校

## 1 生活の5つの約束

- ① 元気にあいさつをする。
- ② 学校では名札を付ける。(名札は各教室で保管。)
- ③ 階段や廊下の右側を静かに歩く。(基本的に全学年、西側の階段を使う。)
- ④ 休み時間は外で元気に遊ぶ。雨の日は、室内で静かに過ごす。
- ⑤ 教室の電話や工しベーター、多目的室2や英会話ルーム等の空き教室を勝手に使わない。

## 2 登下校の約束

- ① 登校は、午前7時45分から午前8時10分の間で行う。(安全確保のため) 欠席の電話連絡もこの時間内です。
- ② 忘れ物は取りに帰らない。
- ③ 下校時刻(午後4時)を守る。放課後、運動場では遊ばない。一人にならないように、真っ直ぐ家に帰る。



## 3 服装

- ① 登下校は、私服でよい。黄色い安全帽子をかぶる。(つばを上げない。)
- ② (イヤーマフなどの安全上問題がある物は身に付けず、室内では、コート類、帽子、手袋、ネックウォーマーをとる。)
- ③ 体操服(ネームを付け、学年、名前をきちんと記入する。)
- ④ 活動時間の服装
- ⑤ 夏 白半袖シャツ(下着を必ず着用する。)、青ハーフパンツ
- ⑥ 冬 青長袖、長ズボン(上下は、半袖の体操服の上に着る。)
- ⑦ 寒い時は、ジャージズボンの下にスパッツ等の着用は可。(ジャージズボンをはかずに、半ズボンにスパッツなどは不可)
- ⑧ 授業がある時には、体操服で登下校しても良い。
- ⑨ 清掃の時は、必ず紅白帽子をかぶり、動きやすい服装になる。
- ⑩ 通学靴、下靴のしやそい靴をはく。上履きは、指定の物をはく。
- ⑪ 頭髪は小学生らしく、学習や運動に適した髪型にする。
- ⑫ 染色や脱色、パーマは禁止。
- ⑬ 整髪料やムース、ワックス、ジェル等の使用は禁止。
- ⑭ 外で遊ぶときや活動するときは、紅白ぼうしをかぶる。
- ⑮ 防犯ブザーをランドセルに付ける。
- ⑯ ミサンガは付けない。手首にヘアゴムは付けない。

## 4 給食の約束

- ① 全員テーブルクロス、給食用タオル、マスクを用意する。
- ② 低学年は、全員エプロンを身に付ける。
- ③ 当番は、エプロン、帽子、マスクを身に付ける。
- ④ 給食後、歯みがきをする。
- ⑤ 昼休みの開始時刻(午後1時)になるまでは教室を出ない。

## 5 外出の約束

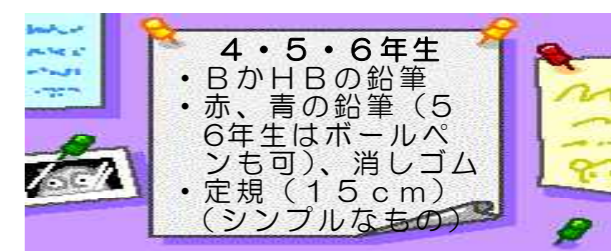
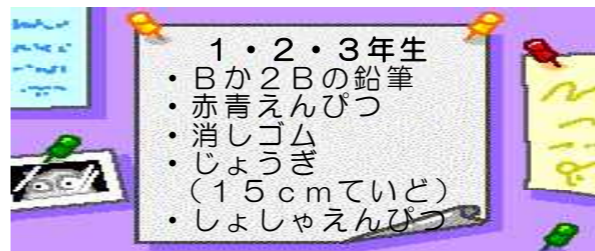
- ① 子どもだけで、学区外へ出かけない。
- ② 子どもだけでカラオケ、ゲームセンター、ボーリング場等の遊技施設を使わない。必ず保護者が付きそいでいることとする。
- ③ 友達同士でお金の貸し借りやカードなどの売買、おごったり、おごられたりしない。
- ④ 改善センターなどの公共施設は、使い方のきまりを守って利用する。
- ⑤ 子どもだけの外泊はしない。

## 6 自転車の約束

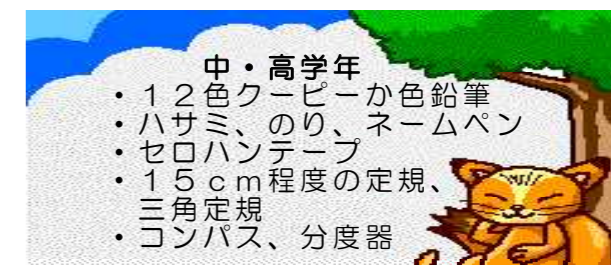
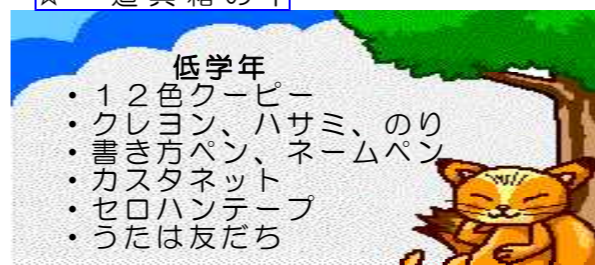
- ① 自転車に乗るときは、必ずヘルメットをかぶる。
- ② 子どもだけの遠乗りは絶対しない。
- ③ 自転車に乗れる範囲の目安
  - ☆ 1・2年生 家の周り
  - ☆ 3・4年生 国道を除く学区内(国道は渡らない。)
  - ☆ 5・6年生 学区内
- ※ 保護者が一緒の場合は、この限りではない。

## 7 学習の約束

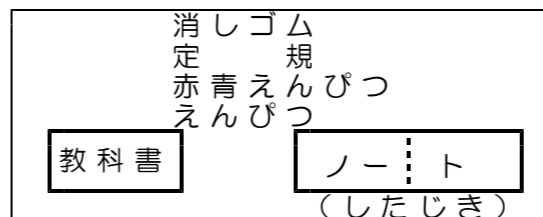
- ① 学習用具をそろえる。
  - ☆ 筆箱の中



### ☆ 道具箱の中



- ② 学習の時刻を守る。
- ③ 次の時間の学習の準備をしてから休み時間にします。
- ④ 学習に必要なもの以外は持ってこない。
  - ・ランドセルには、キーホルダーは(お守り)は1個まではよい。
  - ・ふで箱などには付けない。
  - ・クラブで使うものは、クラブ以外では使わない。
  - ・プロフィール、交換日記などは持ってこない。
  - ・ふせん・メモ用紙では、手紙のやり取りはしない。
  - ・携帯電話やスマホ等は持ってこない。
- ⑤ 教科書、ノート類は毎日きちんと持ち帰る(国語、算数)。
- ⑥ 机の上にあるもの
  - ・えんぴつ(シャープペンシルやバトル鉛筆、ロケット鉛筆等は禁止)、消しゴム、赤青えんぴつ、赤青ボールペン(5・6年は可)、定規、下じき(低学年はソフト下じき)
- ⑦ 学校から貸し出されているタブレットは、学習以外には使用しない。業間休みや昼休みにタブレットを使用するときは、先生の許可を得てから使用すること。



※ 授業のあいさつの仕方は、はじまり、おわり  
 ◎ わきに立つ(ぶつからないように)  
 ◎ いすはそのまま  
 ◇ 次の準備をして休み時間にします。  
 ↓  
 イスを入れる  
 ○ 発表の時もわきに立つ  
 (一番前の子はみんなの方へ)